

2024年9月22日(日)

中国新聞 SELECT 掲載

私は6月から、JICAの日系社会研修「日本社会におけるビジネススキルの習得及び日系アイデンティーの涵養」に参加している。松江市のデザイン事務所、パリティクラブで日本のウェブデザインや企業マネジメントについて学んでいる。

JICA研修員の受け入れ事業の一つ、「日系社会研修」は、中南米地域の日

系社会への技術協力を通じて、日系社会の発展と移住先の国造りに貢献することを目的としている。

この研修では、ブラジル

アイデア 文化超え共有

で経験したことのない貴重な体験がいくつかあった。特に印象的だったのは、初

グをしたことだ。

ブラジルでは社内システム以外の開発経験がなかつたため、お客さまが必要とするウェブデザインと一緒にについてのミーティング

修に携わることで、日本と

ブラジルの架け橋になれたことに感動している。

研修の初めには自己紹介をする機会が多く、名刺交換をたくさんした。来日前からこの文化は知っていた

が、実際にやってみて、人

に挑戦していきたい。これ

から多くの経験を積み重ね、ブラジルに戻った際に

は今回の学びを生かしてい



松江市在住

アカミネ・
ファビアナ・リエ(24)
ブラジル・サンパウロ州
出身



研修先でのミーティングの様子

に考えながら、文化や言語の違いを超えてアイデアを共有する難しさ、楽しさを感じた。さら

に、ブラジル人のお客様とともにお話しする機会があつた。この研修に携わることで、日本と

ブラジルの架け橋になれたことに感動している。

この研修を通じてさらなるスキルの向上を目指し、今後も積極的に新しいことに挑戦していきたい。これ

から多くの経験を積み重ね、ブラジルに戻った際には今回の学びを生かしていきたいと思っている。

日本での生活は初めての1人暮らしということでもあります。料理や掃除の難しさにも直面した。これも自分

の成長の一環だと感じています。ブラジルとは異なる日本の気候にも徐々に慣れ、体調管理に気を付けながら過ごしている。